

BCN-1200U

取扱説明書

スノーホワイト :BCN-1200U-W
シルキーブラック:BCN-1200U-B



BUSICOM

BCNU-201710-003

Serial No.:A12*****, B12*****の製品が対象です

目次

コード別初期設定一覧	2	10. EAN 128		18. UPC-E	
パラメーター設定方法	3	10.1 読取設定	29	18.1 読取設定	43
設定手順	5	10.2 AIM ID 設定	29	18.2 ゼロサプレス	43
設定がおかしくなった時	6	10.3 フィールドセパレータ設定	29	18.3 チェックサム転送設定	43
1.バーコードリーダー初期設定		10.4 コードID 設定	29	18.4 Addon2	43
1.1 デフォルト設定	8	10.5 EAN128 A	30	18.5 Addon5	44
1.2 インタフェース設定	8	10.6 EAN128 B	30	18.6 UPCA 変換設定	44
1.3 キーボード言語設定	9	10.7 EAN128 C	30	18.7 コードID 設定	44
2.バーコードリーダー機能設定		11. CODABAR(NW7)		19. EAN13	
2.1 Caps Lock 設定	10	11.1 読取設定	31	19.1 読取設定	45
2.2 ブザー音設定	11	11.2 スタート・ストップコード転送設定	31	19.2 ゼロサプレス	45
2.3 数字キーボジション	11	11.3 チェックサム検査・転送設定	31	19.3 チェックサム転送設定	45
2.4 コードID 設定	11	11.4 読取桁数設定	32	19.4 Addon2	45
3.バーコードリーダー機能設定		11.5 コードID 設定	32	19.5 Addon5	46
3.1 Baud Rate (通信速度)	13	12. Italy Pharmacode (CODE32)		19.6 ISBN 変換設定	46
3.2 Data Parity (パリティ長)	13	12.1 読取設定	33	19.7 ISSN 変換設定	46
3.3 Data Bits (データ長)	14	12.2 アルファベット転送設定	33	19.8 コードID 設定	46
3.4 フローコントロール	14	12.3 チェックサム転送設定	33	20. EAN8	
3.5 ACK/NAK	15	12.4 コードID 設定	33	20.1 読取設定	47
3.6 STX/ETX	15	13. CODE93		20.2 ゼロサプレス	47
4. 読取設定		13.1 読取設定	34	20.3 チェックサム転送設定	47
4.1 読取設定	16	13.2 読取桁数設定	34	20.4 Addon2	47
4.2 読取回数設定	16	13.3 コードID 設定	34	20.5 Addon5	48
4.3 終端データ	17	14. CHINA POSTAL CODE		20.6 コードID 設定	48
5. プリフィックス・サフィックス設定		14.1 読取設定	35	21. GS1 Data-	
5.1 プリフィックス設定	18	14.2 チェックサム検査・転送設定	35	Bar(RSS)-14	
5.2 サフィックス設定	18	14.3 読取桁数設定	36	21.1 読取設定	49
6. 桁数転送設定		14.4 コードID 設定	36	21.2 コードID 設定	49
6.1 桁数転送設定	19	15. Industrial 2of5		21.3 プレフィックス転送設定	49
6.2 コード別桁数転送設定	19	15.1 読取設定	37	21.4 チェックサム転送設定	49
7. Interleaved 2of5		15.2 チェックサム検査・転送設定	37	22. GS1 Data-	
7.1 読取設定	23	15.3 読取桁数設定	38	Bar(RSS)-Limited	
7.2 チェックサム検査・転送設定	23	15.4 コードID 設定	38	22.1 読取設定	50
7.3 読取桁数設定	24	16. Matrix 2of5		22.2 コードID 設定	50
7.4 コードID 設定	24	16.1 読取設定	39	22.3 プレフィックス転送設定	50
8. Standard / Full ASCII Code 39		16.2 チェックサム検査・転送設定	39	22.4 チェックサム転送設定	50
8.1 読取設定	25	16.3 読取桁数設定	40	23. GS1 Data-	
8.2 フォーマット設定	25	16.4 コードID 設定	40	Bar(RSS)-Expanded	
8.3 チェックサム検査・転送設定	25	17. UPC-A		23.1 読取設定	51
8.4 スタート・ストップキャラクタ転送設定	26	17.1 読取設定	41	23.2 コードID 設定	51
8.5 読取桁数設定	26	17.2 ゼロサプレス	41	23.3 読取桁数設定	51
8.6 コードID 設定	26	17.3 チェックサム転送設定	41	24. Addon 付バーコード	
9. CODE 128		17.4 Addon2	41	(Addon2 / Addon5)とノーマル	
9.1 読取設定	27	17.5 Addon5	42	バーコードの同時読取設定	
9.2 読取桁数設定	27	17.6 EAN13 変換	42	デシマルコードテーブル	53
9.3 コードID 設定	27	17.7 CODE128 B	28	付録A :ASCIIコード一覧	54
9.4 CODE128 A	28	9.6 CODE128 C	28	付録B :ファンクションコード一覧	61



*-IS*ET*
設定開始



*-E*IT*
設定終了

注意事項

- ・光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
- ・幼児の手の届かない場所でご利用ください。
- ・バーコードの設定以外で使用しないでください。
- ・弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
- ・医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
- ・日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

- ・ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
- ・本機を分解改造しないでください。
- ・ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
- ・ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
- ・本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- ・本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。持ち運びや設定の際はご注意ください。



*-D*ONE*
設定保存



~ISET

設定開始



~EDIT

設定終了

コードタイプ別初期設定一覧 (ビジコム出荷時の設定)

	読取	読取桁数		コード ID			
		最少	最大	Default ID		AIM ID	
Interleaved 2of5	有効	10	82	I	Z]I0	
Code 39	有効	01	82	C	M	Y]A0
Full ASCII Code 39	有効	01	82	O]A0	
Code 128	有効	01	82	K]C0	
EAN 128	有効	-	-	W]C1	
Codabar(NW7)	有効	01	82	N	X]F0	
Italy Pharmacode(CODE32)	無効	-	-	P]X0	
Code 93	無効	06	82	L]G0	
China Postal Code	無効	11	82	D]X0	
Industrial 2of5	無効	10	82	H]S0	
Matrix 2of5	無効	10	82	U]X0	
UPCA	有効	-	-	A]E0	
UPCE	有効	-	-	C	E]E0	
EAN13	有効	-	-	A	F]E0	
EAN8	有効	-	-	B	FF]E4	
DataBar(RSS)-14	無効	-	-	R]e0	
DataBar(RSS)-Limited	無効	-	-	S]e0	
DataBar(RSS)-Expanded	無効	1	74	T]e0	



~DONE

設定保存



-ISET

設定開始



-EXIT

設定終了

パラメータ設定方法

例:P.18「プリフィックス」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。



-ISET

2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



0203

3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。



00

4. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



0203

5. プリフィックスを設定するので、「プリフィックスコード設定」をスキャンします。



04

6. P. 57～の ASCII コード一覧から設定したい値をスキャンします。



A



B



C

※ABC と入力したい場合の設定例です。

7. 「設定終了」をスキャンします。



-EXIT

8. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。



-DONE



-DONE

設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

パラメータ設定方法

例:P.27 CODE 128「最小読取桁数」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。



-ISET

2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



0405

3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。



01

4. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



0405

5. 読取桁数設定の最小値を設定するので「MinLength (01)/【01】」をスキャンします。



02

6. P. 53 のデシマルコード^① テーブルから設定したい数値をスキャンします。



0

(桁数 2 と設定したい場合です。 それ以外の桁数は



2

対応するコードをスキャンしてください。)

7. 「設定終了」をスキャンします。



-EXIT

8. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。



-DONE



-DONE
設定保存

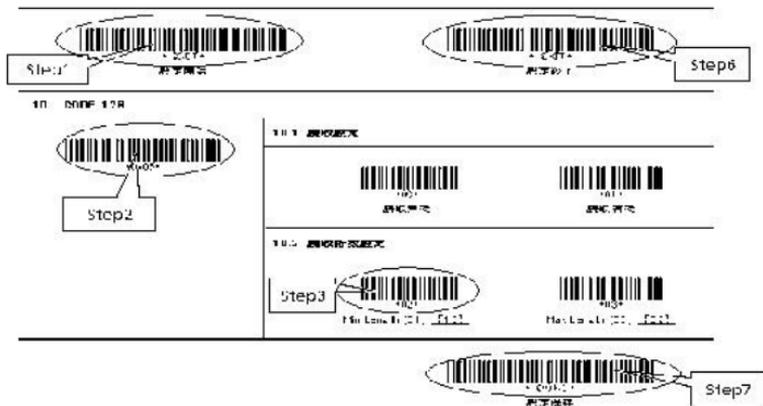


-ISET
設定開始

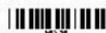


-EDIT
設定終了

設定手順 ステップ1からステップ7のバーコードをスキャンして設定します。



117 設定完了 (12R)



ステップ 1 : 【設定開始】

ステップ 2 : 【設定コード】

ステップ 3 : 【オプションコード】

ステップ 4 : 【デシマルコード】

ステップ 5 : 【デシマルコード】

ステップ 6 : 【設定終了】

ステップ 7 : 【設定保存】



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-E:IT
設定終了

○設定がおかしくなった時（ビジコム出荷時の設定にもどす）

何らかの事情で設定がおかしくなった際に、出荷時の設定にもどしたい場合は下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。

※お客様の運用方法により特殊な設定を行っている場合には、後頁の各設定のバーコードにて個別に設定を行ってください。

1. 設定開始



-ISET

2. デフォルト設定



0100



00

3. 設定開始

デフォルト設定



-ISET

4. キーボード言語設定



0102



06

5. Full ASCII Code 39(フォーマット設定)

PCAT (Japanese)



0400



03

6. UPC-A (EAN13 変換)

Standard



0504



14

EAN13 変換有効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

7. CODABAR (NW7) 読取有効設定



0402



01

8. スタートストップコード転送設定



0402



03

9. 読取桁数設定



0402



09

10. デシマルコード



0



1

11. 設定終了



-EXIT



-DONE

以上で出荷時の設定にもどります。



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EDIT
設定終了

Chap.1 バーコードリーダー初期設定

1.1 デフォルト設定



0100



00

デフォルト設定



01

ファームウェアバージョン確認

1.2 インターフェース設定

デフォルト:【PC AT】



0101



00

PC AT



01

RS232C



02

Keyboard



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



*-E*IT*
設定終了

1.3 キーボード言語設定

※本製品は、日本語【PCAT (Japanese)】
に設定変更を行い出荷しております。

デフォルト:【PCAT(US)】



01.02



C0

ALT キーモード



C1

PCAT (US)



C2

PCAT (French)



C3

PCAT (German)



C4

PCAT (Italy)



C5

PCAT (Swiss)



C6

PCAT (Japanese)



C7

PCAT (UK)



C8

PCAT (Spanish)



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



*-E*IT*
設定終了

Chap.2 バーコードリーダー機能設定

2.1 Caps Lock 設定

読み込んだバーコードの全ての文字について、指定された大文字・小文字に変換して通知する機能指定です。

(設定例)

設定		結果	
リーダー設定	キーボード状態	バーコードデータ	出力
CapsLock を使用しない	Caps Lock_OFF	AaBbCc	AaBbCc
	Caps Lock_ON		aAbBcC
CapsLock を使用する	Caps Lock_OFF		aAbBcC
	Caps Lock_ON		AaBbCc
CapsLock 自動	Caps Lock_OFF		AaBbCc
	Caps Lock_ON		AaBbCc



0106



00

自動



01

Caps Lock OFF



02

Caps Lock ON



03

小文字



04

大文字

デフォルト:【自動】



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EJIT
設定終了

2.2 ブザー音設定

読取確認音の大きさを設定できます。



J204



00

ブザー音無



J1

4.3KHz



02

2.4KHz



03

1.5KHz

デフォルト:【2.4KHz】

2.3 数字キーポジション



0209



00

英数字キー



01

数字キー

デフォルト:【英数字キー】

2.4 コード ID 設定

読み込んだバーコードの種類を転送したい場合に設定します。



0202

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。AIM ID 設定を有効にし、バーコードを読み込むと、P12 の表のとおりコード ID が転送データのヘッダーに付加されます。

コード ID はお好みに選択することも可能です。その設定については、それぞれのバーコードの種類のコード ID 設定を参照ください。また、その設定の際はユーザ ID 選択を有効にしてください。



00

無効



J1

SET1(C/A/B/I/M/N)



02

SET2(E/F/F/F/I/M/N)



13

SET3(E/A/B/I/C/N)



04

SET4(C/A/B/Z/Y/X)



06

AIM ID 設定



06

ユーザ ID 選択

デフォルト:【無効】

-DONE
設定保存



**SET*

設定開始



**E*IT*

設定終了

	SET1	SET2	SET3	SET4	AIM ID
Interleaved 2of5	I	I	I	Z]I0
Code 39	M	M	C	Y]A0
Full ASCII Code 39	O	O	O	O]A0
Code 128	K	K	K	K]C0
EAN 128	W	W	W	W]C1
Codabar(NW7)	N	N	N	X]F0
Italy Pharmacode(CODE32)	P	P	P	P]X0
Code 93	L	L	L	L]G0
China Postal Code	D	D	D	D]X0
Industrial 2of5	H	H	H	H]S0
Matrix 2of5	U	U	U	U]X0
UPCA	A	A	A	A]E0
UPCE	C	E	E	C]E0
EAN13	A	F	A	A]E0
EAN8	B	FF	B	B]E4
DataBar(RSS)-14	R	R	R	R]e0
DataBar(RSS)-Limited	S	S	S	S]e0
DataBar(RSS)-Expanded	T	T	T	T]e0



**DONE*

設定保存



**ISET*
設定開始



**EXIT*
設定終了

Chap.3 バーコードリーダー機能設定

3.1 Baud Rate(通信速度)

デフォルト:【9600bps】



J300



00

1200bps



01

2400bps



02

4800bps



03

9600bps



04

19200bps



05

38400bps



06

57600bps



07

115200bps

3.2 Data Parity(パリティ長)

デフォルト:【No Parity】



0A01



00

Even(偶数)



01

Odd(奇数)



02

Mark



03

Space



04

No Parity



**DONE*
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

3.3 Data Bits (データ長)

デフォルト:【8Bits】



0302



00

7Bits



01

8Bits

3.4 フローコントロール

データレディ：スキャナーはデコードが成功したことを示すために送信要求信号 (RTS) を出し、送信可信号 (CTS) を受け取ると、データを送信します。

スキャナーレディ：スキャナーの電源がついているとき、スキャナーは送信要求信号 (RTS) を出し、送信可信号 (CTS) を受け取るとデータを送信します。

デフォルト:【無効】



0304



00

無効



01

データレディ



02

スキャナレディ



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



*-E*IT*
設定終了

3.5 ACK/NAK

ACK/NAK プロトコルは、ソフトウェアプロトコルの一つで、ホストコンピュータとの受信結果をスキャナーがホストコンピュータにフィードバックするものです。これが設定されていると、スキャナーがコマンドを正しく受信、実行しているときには、スキャナーはホストコンピュータに ACK(06H)という信号を出力します。スキャナーがコマンドを正しく受信できなかったときは、NAK(15H)という信号を出力します。また、ACK/NAK プロトコルは、ホストコンピュータがコマンドを出す速度をスキャナーで処理できる範囲に抑えることもできます。



0305



00

無効



01

有効

デフォルト:【無効】

3.6 STX/ETX

ASCII コードで、テキストの初め(STX)02H と終わり(ETX)03H で、通常データ送信を圧縮できます。



0307



00

無効



01

有効

デフォルト:【無効】



-DONE
設定保存



ISET
設定開始



EXIT
設定終了

Chap.4 読取設定

バーコードリーダーの読込をどのような状態で行うかを設定します。

デフォルト:【トリガ ON/OFF】



0205



00

テストモード



C1

トリガ ON/OFF



02

連続読取(LED点滅)



C3

トリガスイッチにて動作



06

読取後 消灯



07

トリガ無し(常時点灯)

4.2 読取回数設定

リピートデコード回数です。バーコードをデコードする際に、設定された回数に達しないと出力されません。誤読しやすいバーコードを読取る際に、よく使われる機能となります。

デフォルト:【0回】

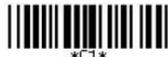


0201



00

0回



C1

1回



02

2回



03

3回



04

4回



C5

5回



DONE
設定保存



ISET
設定開始



EDIT
設定終了

4.3 終端データ

バーコードデータの最後に付加するコードを選択します。



0200

デフォルト:【CR+LF(Enter)】



00

CR



C1

CR+LF(Enter)



02

LF



C3

Disable

※

CR-カーソルが先頭に行くこと

LF-1行下に行くこと

Disable-設定しない

(コード対応表)

コード	16進データ
CRコード	0DH
LFコード	0AH
CR+LFコード	0DH+0AH



DONE
設定保存



~ISET

設定開始



~E~IT

設定終了

Chap.5 プリフィックス・サフィックス設定

5.1 プリフィックスの設定(ヘッダーの付加)



0203

5.1.1 プリフィックス設定 デフォルト:【無効】
バーコードデータのヘッダーに文字を付加させる設定

00

有効



01

無効

5.1.2 プリフィックスコード設定
読み込んだバーコードデータのヘッダーとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。(最大 8 桁まで設定できません。)

04

プリフィックスコード設定
(最大 8 桁)

05

クリア設定

5.2 サフィックスの設定(フッターの付加)



0203

5.2.1 サフィックス設定 デフォルト:【無効】
バーコードデータのフッターに文字を付加させる設定

02

有効



03

無効

5.2.2 サフィックスコード設定
読み込んだバーコードデータのフッターとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。(最大 8 桁まで設定できません。)

06

サフィックスコード設定
(最大 8 桁)

07

クリア設定



~DONE

設定保存



-ISET
設定開始



*-E*IT*
設定終了

Chap.6 桁数転送設定

6.1 桁数転送設定

読み込んだバーコードの長さを転送したい場合に設定してください。
バーコードの長さは、2 桁の数字にて転送されます。



0208

デフォルト:【無効】



00
無効



01
有効

6.2 コード別桁数転送設定



0210

6.2.1 全コード桁数転送設定



00
有効



01
無効

6.2.2 CODE39 桁数転送設定



02
有効



03
無効

6.2.3 Codabar(NW7) 桁数転送設定



04
有効



05
無効

6.2.4 Interleaved 2of5 桁数転送設定



06
有効



07
無効

6.2.5 China Postal Code 桁数転送設定



08
有効



09
無効



-DONE
設定保存



ISET
設定開始



E*IT
設定終了



0210

6.2.6 Industrial 2of5 桁数転送設定



10

有効



11

無効

6.2.7 Matrix 2of5 桁数転送設定



12

有効



13

無効

6.2.8 UPCA 桁数転送設定



14

有効



15

無効

6.2.9 EAN13(JAN13) 桁数転送設定



16

有効



17

無効

6.2.10 EAN8(JAN8) 桁数転送設定



18

有効



19

無効

6.2.11 UPCE 桁数転送設定



20

有効



21

無効

6.2.12 Code 128 桁数転送設定



22

有効



23

無効



DONE
設定保存



ISET
設定開始



EJIT
設定終了



0210

6.2.13 Code 93 桁数転送設定



24

有効



25

無効

6.2.14 Full ASCII Code 39 桁数転送設定



26

有効



27

無効

6.2.15 Italy Pharmacode 桁数転送設定



28

有効



29

無効

6.2.16 EAN 128 桁数転送設定



30

有効



31

無効

6.2.17 GS1 DataBar(RSS)-14 桁数転送設定



32

有効



33

無効

6.2.18 GS1 DataBar(RSS)-Limited 桁数転送設定



34

有効



35

無効

6.2.19 GS1 DataBar(RSS)-Expanded 桁数転送設定



36

有効



37

無効



DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



Q21Q

6.2.20 PDF417 桁数転送設定



38
有効



C9
無効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.7 Interleaved 2of5



0401

7.1 読取設定

デフォルト: [有効]



00

無効



01

有効

7.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト: [無効]

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。このバーコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。



02

チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 有効



03

チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 無効



04

チェックサム検査 : 無効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



040T

7.3 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



08

Min Length (01)/ 【10】



09

Max Length (82)/ 【82】

7.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



10

コード ID 設定



11

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.8 Standard / Full ASCII Code 39



0400

8.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

8.2 フォーマット設定

デフォルト:【Full ASCII】

Full ASCII CODE-39 は、CODE-39 強化版です。
全ての ASCII コードを表す 128 キャラクタのデータです。
※本製品は、【Standard】に設定変更を行い出荷しております。



02

Full ASCII



03

Standard

8.3 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



04

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：有効



05

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：無効



06

チェックサム検査：無効



-DONE

設定保存



-ISET.
設定開始



*-E*IT.*
設定終了



0400

8.4 スタート・ストップ・キャラクター転送設定

デフォルト:【無効】

CODE-39 のスタートコードとストップコードである、“*”転送を指定します。

有効を設定した場合には、バーコードデータは前後に“*”が付加され、はさまれた形で転送されます。



07

有効



08

無効

8.5 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さとして決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



09

Min Length (01)/ 【01】



10

Max Length (82)/ 【82】

8.6 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



11

コード ID 設定



12

設定クリア



-DONE.
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.9 CODE 128



0405

9.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00
無効



01
有効

9.2 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さとして決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



02
Min Length (01)/ 【01】



03
Max Length (82)/ 【82】

9.3 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



04
コード ID 設定



05
設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了



0405

9.4 CODE128 A

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。
[CODE-A]: 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL など)のセット



06

無効



07

有効

9.5 CODE128 B

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。
[CODE-B]: ASCII 文字を表すセット



08

無効



09

有効

9.6 CODE128 C

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。
[CODE-C]: 数字のみを表すセット



10

無効



11

有効



-DONE.
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.10 EAN 128



0503

10.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

10.2 フィールドセパレータ設定

デフォルト:【無効】



04

フィールドセパレータ設定



05

有効



06

無効

10.3 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.11のユーザーID選択を有効にして下さい。



07

コードID設定



08

設定クリア



-DONE

設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



0503

10.4 EAN128 A

デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。
[CODE-A]: 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL などのセット



09

無効



10

有効

10.5 EAN128 B

デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。
[CODE-B]: ASCII 文字を表すセット



11

無効



12

有効

10.6 EAN128 C

デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。
[CODE-C]: 数字のみを表すセット



13

無効



14

有効



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.11 CODABAR(NW7)



0402

11.1 読取設定

デフォルト:【無効】

※本製品は、【有効】に設定変更を行い出荷しております。



00

無効



01

有効

11.2 スタート・ストップコード転送設定

デフォルト:【有効】

スタートストップコードを、転送する場合に指定します。

※本製品は、【無効】に設定変更を行い出荷しております。



02

有効



03

無効

11.3 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査：無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



04

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：有効



05

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：無効



06

チェックサム検査：無効



-DONE

設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了



0402

11.4 読取桁数設定

※本製品は、最小読取桁数 01【1桁】に設定変更を行い出荷しております。

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さとして決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



09

Min Length (01)/【10】



10

Max Length (82)/【82】

11.5 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



11

コード ID 設定



12

設定クリア



-DONE.
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.12 Italy Pharmacode (CODE32)



0404

12.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00
無効



01
有効

12.2 アルファベット転送設定

デフォルト:【有効】



02
有効



03
無効

12.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



04
有効



05
無効

12.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASG II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にして下さい。



06
コード ID 設定



07
設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.13 CODE93



0502

13.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

13.2 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



02

Min Length (01)/ 【06】



03

Max Length (82)/ 【82】

13.3 コードID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にしてください。



04

コード ID 設定



05

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.14 CHINA POSTAL CODE



0403

14.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00
無効



01
有効

14.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査：無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



02

チェックサム検査：有効
チェックサム転送：有効



03

チェックサム検査：有効
チェックサム転送：無効



04

チェックサム検査：無効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



0403

14.3 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



05

Min Length (01)/ 【11】



06

Max Length (82)/ 【82】

14.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



07

コード ID 設定



08

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.15 Industrial 2of5



0500

15.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

15.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査：無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



02

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：有効



03

チェックサム検査：有効

チェックサム転送：無効



04

チェックサム検査：無効



-DONE.
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



0500

15.3 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



05

Min Length (01)/ 【10】



06

Max Length (82)/ 【82】

15.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



07

コード ID 設定



08

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.16 Matrix 2of5



0501

16.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

16.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査：無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



02

チェックサム検査：有効
チェックサム転送：有効



03

チェックサム検査：有効
チェックサム転送：無効



04

チェックサム検査：無効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



*-E*IT*
設定終了



0501

16.3 読取桁数設定

1 から 82 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



05

Min Length (01)/ 【10】



06

Max Length (82)/ 【82】

16.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



07

コード ID 設定



08

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



*-E*IT.*
設定終了

Chap.17 UPC-A



0504

17.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

17.2 ゼロサプレス

デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます。



02

有効



03

無効

17.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。



04

有効



05

無効

※17.4 Addon2 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

17.4 Addon2

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の2文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読取無効にする場合は、P52 を参照してください。



06

有効



07

無効



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



*-E*IT.*
設定終了



0504

※17.5 Addon5 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

17.5 Addon5

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の5文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読み取無効にする場合は、P.52 を参照してください。



08

有効



09

無効

17.6 EAN13 変換

デフォルト:【無効】

※本製品は、【有効】に設定変更を行い出荷しております。



14

有効



15

無効

17.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にして下さい。



16

コード ID 設定



17

設定クリア

◎JAN コードで頭に 0 を付けたい場合 (例 000012345670→0000012345670)
設定開始→[*0504*]→17.6 EAN13 変換 有効[*14*]→設定終了→設定保存



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-E\IT.
設定終了

Chap.18 UPC-E



0505

18.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

18.2 ゼロサプレス

デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます。



02

有効



03

無効

18.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。



04

有効



05

無効

※18.4 Addon2 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

18.4 Addon2

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の2文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読取無効にする場合は、P52 を参照してください。



06

有効



07

無効



-DONE.
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了



0505

※18.5 Addon5 は内容を改訂しております。
シリアル No.:A12***** (先頭 A) または
シリアル No.:B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

18.5 Addon5

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の5文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読み取無効にする場合は、P.52 を参照してください。



08

有効



09

無効

18.6 UPCA 変換設定

デフォルト:【無効】

UPCA への変換設定を行います。



14

有効



15

無効

18.7 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。



20

コード ID 設定



27

設定クリア



-DONE.
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.19 EAN13



0600

19.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

19.2 ゼロサプレス

デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます。



02

有効



03

無効

19.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックサムが標準で含まれています。
チェックサムはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。このチェックサムは、モジュラス 10 ウエイ 3 にて算出されています。



04

有効



05

無効

19.4 Addon2

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(Addon code)の2文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無し of ノーマルバーコード、双方を読み取ります。
ノーマルのバーコードを読取無効にする場合は、P52 を参照してください。



06

有効



07

無効

※19.4 Addon2 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。



-DONE.
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了



0600

※19.5 Addon5 は内容を改訂しております。
シリアル No.:A12***** (先頭 A) または
シリアル No.:B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

19.5 Addon5

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の5文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読み取無効にする場合は、P52 を参照してください。



08

有効



09

無効

19.6 ISBN 変換設定

デフォルト:【無効】

ISBN (国際標準図書番号) は、バーコードブックランドラベルです。ISBN は 978 がついた 10 桁の数字です。



14

有効



15

無効

19.7 ISSN 変換設定

デフォルト:【無効】

ISSN (国際標準逐次刊行物番号) は、バーコードブックランドラベルです。ISSN は EAN-13 のコード体系の 977 がついた 8 桁の数字です。



16

有効



17

無効

19.8 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデジタルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にして下さい。



18

コード ID 設定



19

設定クリア



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.20 EAN8



0601

20.1 読取設定

デフォルト:【有効】



00

無効



01

有効

20.2 ゼロサプレス

デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます。



02

有効



03

無効

20.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



04

有効



05

無効

※20.4 Addon2 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

20.4 Addon2

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の2文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読取無効にする場合は、P52 を参照してください。



06

有効



07

無効



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



*-E*IT.*
設定終了



0601

※20.5 Addon5 は内容を改訂しております。
シリアル No.: A12***** (先頭 A) または
シリアル No.: B12***** (先頭 B) 以外の
製品の設定をされる場合は、改訂前の
取扱説明書 (BCNU-201408-001 版) を
お使いください。

20.5 Addon5

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字 (Addon code) の5文字を補う設定です。【有効】にした場合、Addon 付きのバーコード、Addon 無しのノーマルバーコード、双方を読み取ります。ノーマルのバーコードを読み取無効にする場合は、P.52 を参照してください。



08

有効



09

無効

20.6 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にして下さい。



14

コード ID 設定



15

設定クリア



-DONE.
設定保存



--ISET
設定開始



--EXIT
設定終了

Chap.21 GS1 DataBar(RSS)-14



0602

21.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

21.2 コードID 設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDを選択できます。数字・アルファベット大文字・記号、デジマルコード、ASCIIコード一覧から選択できます。



02

コードID設定



03

設定クリア

21.3 プレフィックス転送設定

デフォルト:【無効】



04

有効



05

無効

21.4 チェックサム転送設定

デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



06

有効



07

無効



--DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

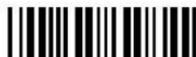
Chap.22 GS1 DataBar(RSS)-Limited



0603

22.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

22.2 コードID 設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデジタルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11のユーザーID 選択を有効にしてください。



02

コードID 設定



03

設定クリア

22.3 プレフィックス転送設定

デフォルト:【無効】



04

有効



05

無効

22.4 チェックサム転送設定

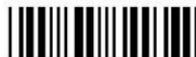
デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



06

有効



07

無効



-DONE
設定保存



-ISET
設定開始



-EXIT
設定終了

Chap.23 GS1 DataBar(RSS)-Expanded



0604

23.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

無効



01

有効

23.2 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC II コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザー ID 選択を有効にしてください。



02

コード ID 設定



03

設定クリア

23.3 読取桁数設定

1 から 74 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



04

Min Length (01)/ 【01】



05

Max Length (74)/ 【74】



-DONE
設定保存



-ISET.
設定開始



-EXIT.
設定終了

Chap.24 Addon 付バーコード(Addon2 / Addon5)とノーマルバーコードの同時読取設定

24.1 Addon 付バーコードとノーマルバーコードの同時読取無効設定

デフォルト:【有効】

Addon(Addon2 / Addon5)有効時、Addon 付のバーコードと Addon 無しのノーマルバーコードの読み取りを、併用するかどうかの設定です。

Addon 付きバーコードの読み取りのみに限定する場合は、本設定(*0212*、*00*)に続けて、下記の該当するコードの同時読取を無効に設定してください。



00
無効



0212

24.2.1 UPC-A Addon 同時読取設定

デフォルト:【有効】



0504



10
無効

24.2.2 UPC-E Addon 同時読取設定

デフォルト:【有効】



0505



11
有効

24.2.3 EAN13 Addon 同時読取設定

デフォルト:【有効】



0600

※Chap.24 は設定内容を改訂してあります。

24.2.4 EAN8 Addon 同時設定

デフォルト:【有効】



0601

シリアル No.:A12***** (先頭 A)または No.:B12***** (先頭 B)以外の製品の設定をされる場合は、改訂前の取扱説明書(BCNU-201408-001版)をお使いください。



-DONE
設定保存



->SET
設定開始



->EXIT
設定終了

デシマルコードテーブル (16 進テーブルコード表)



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9



->DONE
設定保存



~ISET
設定開始



~EXIT
設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(1)



~U
NUL



~A
SOH



~E
STX



~C
ETX



~D
EOT



~E
ENQ



~F
ACK



~G
BEL



~H
BS



~I
HT



~J
LF



~K
VT



~L
FF



~M
CR



~N
SO



~O
SI



~P
DLE



~Q
DC1



~R
DC2



~S
DC3



~T
DC4



~DONE
設定保存



~ISET

設定開始



~EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(2)



\$U

NAK



\$V

SYN



\$W

ETB



\$X

CAN



\$Y

EM



\$Z

SUB



%A

ESC



%B

FS



%C

GS



%D

RS



%E

US



* *

Space



/A

!



/B

"



/C

#



/D

\$



/E

%



/F

&



/G

"



/H

(



/I

)



-DONE

設定保存



-ISET

設定開始



-EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(3)



/J

*



/K

+



/L

,



/M

-



/N

.



/O

/



/P

0



/Q

1



/R

2



/S

3



/T

4



/U

5



/V

6



/W

7



/X

8



/Y

9



/Z

:



/F

;



/G

<



/H

=



/I

>



-DONE

設定保存



ISET

設定開始



EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(4)



%J

?



%V

@



A

A



B

B



C

C



D

D



E

E



F

F



G

G



H

H



I

I



J

J



K

K



L

L



M

M



N

N



O

O



P

P



Q

Q



R

R



DONE

設定保存



~ISET

設定開始



~EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(5)



S

S



T

T



U

U



V

V



W

W



X

X



Y

Y



Z

Z



%[

[



%L

¥



%M

]



%N

^



%O

-



%W

`



+A

a



+B

b



+C

c



+D

d



+E

e



+F

f



~DONE

設定保存



~ISET

設定開始



-EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(6)



**G*

g



**H*

h



**I*

i



**J*

j



**K*

k



**L*

l



**M*

m



**N*

n



**O*

o



**P*

p



**Q*

q



**R*

r



**S*

s



**T*

t



**U*

u



**V*

v



**W*

w



**X*

x



**Y*

y



**Z*

z



**[*

{



-DONE

設定保存



~SET

設定開始



~EXIT

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(7)



%Q

|



%R

}



%S

~



%T

DEL



~DONE

設定保存



->ISET.
設定開始



->EXIT.
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(1)



F1Z6R800
F1



F1Z6R801
F2



F1Z6R802
F3



F1Z6R803
F4



F1Z6R804
F5



F1Z6R805
F6



F1Z6R806
F7



F1Z6R807
F8



F1Z6R808
F9



F1Z6R809
F10



F1Z6R810
F11



F1Z6R811
F12



F1Z6R812
Home



F1Z6R813
End



->DONE
設定保存



F1Z6R814
設定開始



F1Z6R815
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(2)



F1Z6R814
Right



F1Z6R815
Left



F1Z6R816
Up



F1Z6R817
Down



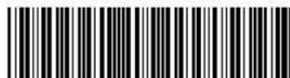
F1Z6R818
Page Up



F1Z6R819
Page Down



F1Z6R820
Tab



F1Z6R821
Back Tab



F1Z6R822
Esc



F1Z6R823
Enter



F1Z6R824
Back Space



F1Z6R825
Insert



F1Z6R826
Delete



F1Z6R827
ALT



F1Z6R828
設定保存



~ISET
設定開始



~EXIT
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(3)



F1Z6R829
Shift



F1Z6R831
Ctrl



~DONE
設定保存



-SET
設定開始



-E<IT.
設定終了



-DONE
設定保存

製品保証規定

1. 保証内容

取扱説明書・本体送付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ、販売店または弊社サポートまでご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理致します。お送りいただく場合の費用はお客様のご負担、弊社から返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。

2. 保証対象

保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、消耗品類は保証の対象とはなりません。

3. 保証適用外

保証書をご提示いただきましても次の場合は有償修理となります。

- 1) お買い上げ日から保証期間が経過した場合
- 2) 本保証書の所定事項（お買い上げ年月日、お客様名、ご住所、販売店名など）が未記入の場合、または字句が書き替えられた場合
- 3) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷
- 4) 移動時の落下等による故障および損傷
- 5) 表記の販売店、または弊社以外による修理、改造による故障および損傷
- 6) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
- 7) 修理ご依頼の際、本保証書のご提示がいただけない場合
- 8) 接続している他の機器に起因して、故障が生じた場合

4. 弊社免責

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について弊社は一切責任を負いません。

5. 保証有効範囲

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

※本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。これにより、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※本商品は将来改良のため予告なく変更する場合があります。

※本保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。

※本製品および取扱説明書の内容を弊社の許諾なしに複製することはできません。

保証書

型番

BCN-1200U

保証期間

お買い上げ日より1年間有効です。

ふりがな

お名前

お

客

TEL ()

-

様 住所

お買い上げ年月日

年

月

日

住所・店名

販

売

店

TEL ()

-

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は、必ず販売日をお買い上げ年月日欄に記入し、貴店名/住所・貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられません。

BCN-1200U 取扱説明書



BUSICOM

株式会社ビジコム

<https://www.busicom.co.jp/>